

# エーザイ株式会社 説明会資料

## MGI PHARMA, INC. 買収合意

2007年12月10日

# 重要な法的開示事項の 米国証券取引委員会(SEC)へのファイリングについて

このお知らせに記載されている公開買付けはまだ開始されておらず、このお知らせはMGIファーマ株式の買付けの申込みまたは売付けの勧誘を行なうものではありません。本公開買付けに関して今後提出される公開買付説明書(Tender Offer Statement)および意見表明書(Solicitation/Recommendation Statement)には重要な情報が含まれるため、それらが入手可能となった場合、投資家および証券保有者はそれらを閲覧することが求められます。公開買付説明書はエーザイの子会社によってSECに提出され、意見表明書はMGIファーマによってSECに提出されます。投資家および証券保有者は、(入手可能となった場合の)これらの書面およびエーザイの子会社またはMGIファーマによってSECに提出されるその他の書面を、SECのウェブサイト <http://www.sec.gov/> から無料で入手することができます。また、公開買付説明書およびその関連資料、意見表明書、ならびに上記のその他の書面は、本公開買付けの情報管理代理人であるGeorgeson, Inc.(問合せ電話番号: 銀行等 +1-212-440-9800、その他の方 +1-888-605-7543<米国のみ有効>)から無料で入手することもできます。

# 将来見通しに関する注意事項

将来の売上および業績に関する見通しなど、このお知らせにおいて含まれる記載には、1995年米国私的証券訴訟改革法(the Private Securities Litigation Reform Act of 1995)の定義における「将来予測情報」(forward-looking statements)が含まれています。本プレスリリースに含まれる将来予想情報には、本取引により生じる利益の予測、

本取引に係る申請と承認の時期に係る予測、本取引の完了の時期に関する予定、なお、これらの状況に対する仮定に関する表現が含まれています。期待する、見込みである、信じる、計画する、予定である、見通しである、計画である、予測する、展望するなどの単語およびこれらと同様の表現は、かかる将来予測情報を示すものです。このお知らせにおける記載は、既知または未知のリスク、不確実性、ならびに実際の結果、収益、業績または達成度を、かかる将来予測情報により明示または暗示された将来の結果、収益、業績または達成度から大きく乖離させるその他の要素を含んでいます。かかる要素には、一般的な業界および市場の状況、金利および通貨為替変動などの一般的な国内 および国際的な経済条件、競合他社が取得する技術的優位性および特許、新製品開発・臨床試験における固有の困難性、製品の安全性および効果に関するクレームや懸念、規制上の許認可の取得、国内外の保健医療改革、マネージド・ケアおよび健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える法規制、需要に見合う生産能力構築の不能、

原材料の入手困難、市場の受容・第三者の同意の獲得失敗などが含まれます。予測と違う結果をもたらすであろうリスクや不確実性には次のようなものが含まれています。公開買付け・合併のタイミングに関する不確実性、公開株式に応じるMGIファーマの株主数の不確実性、競合の買付けが行われるリスク、行政機関による本取引開始の禁止、遅延、承認拒否を含む契約条件の不成立または不履行の発生の可能性。当社は、今後生じる事象や状況を反映しまたは予測され若しくはされていなかった事象の発生を反映して将来予測情報を更新または訂正する義務を負うものではなく、かかる義務を明確に拒否します。

# MGI PHARMA買収の概要

- **買収の概要**
  - 1株当たり\$41、総額約\$3.923Billion
  - **プレミアム**
    - MGI PHARMA, INC.がストラテジック・オールタネーティブをアナウンスした  
前日終値:29.55ドルに対して38.7%プレミアム
    - 2007年12月7日までの過去3カ月間の  
MGI PHARMA終値平均株価 29.92ドルに対し、37.0%プレミアム
  - **テンダーオファーの開始は2007年12月中旬頃**
  - **買収手続きは2008年第1四半期(1-3月)に完了の見込み**
- **MGI PHARMA取締役会は買収提案について全会一致  
で賛同**

# MGI PHARMAの概要

がんと救急治療分野に強みを持つバイオフーマ

## Corporate Overview

所在地: ブルーミントン、ミネソタ(本社)、  
レキシントン(研究所)、ホルチモア(工場)

創立: 1979年

上場証券取引所: NASDAQ(1982年上場)

時価総額: \$2.7B(2007年12月7日株価\$33.45)

株主: 機関投資家比率約73%

従業員: 540名(2007年2月1日現在)

## 経営陣

取締役議長: Hugh Miller

President & CEO: Lonnie Moulder

EVP & CSO: Mary Lynne Hedley

EVP & COO: Eric P. Loukas

EVP & CFO: William F. Spengler

## インフラストラクチャー

- コマーシャルインフラ: セールsteam(オンコロジーおよびアキュート・ケア)、マーケティング、メディカルアフェアーズなど236名
- 研究開発: 基礎研究、開発研究、臨床研究、プログラムマネジメント、レギュラトリー、安全性など170名

(MGI PHARMA 2006年ANNUAL REPORTによる)

## 財務情報

	2004年	2005年	2006年	2007年 1Q-3Q
売上高	195.7	279.4	342.8	288.8
研究開発費	62.6	70.9	100.1	56.9
営業利益(損失)	(84.7)	(134.8)	(31.2)	<b>14.5</b>
当期利益(損失)	(85.7)	(132.4)	(40.2)	<b>13.7</b>

単位: 百万ドル

出所: MGI PHARMA発表数値

# MGI PHARMA買収で目指すもの

1. オンコロジー・ビジネスへの進出を確たるものとする
2. ドラマティック リープ プラン (DLP) の目標達成の確度を向上させる
3. 2012年度以降の持続的成長を視野に入れる

# MGI PHARMA買収で目指すもの

1. **オンコロジー・ビジネスへの進出を確たるものとする**

# がん領域のすべてのニーズの充足に貢献

がん治療に対するあらゆる研究アプローチが可能となる

## 低分子医薬

## 免疫療法

## 支持療法

新規  
細胞分裂  
阻害

細胞分化  
誘導

新規  
作用機序

がん増殖  
シグナル  
阻害

血管新生  
抑制

DNA  
ワクチン

モノ  
クローナル  
抗体

ワクチン  
アジュバント

がん治療の  
支持療法  
(嘔吐、  
血小板  
減少  
など)

がんに伴う  
症状の緩和  
(疼痛など)



# 研究・開発シナジー

## がん領域研究アプローチのフル装備化

- 低分子医薬

- 新規細胞分裂阻害（E7389、E7974、Irofulven）
- 細胞分化誘導（Dacogen<sup>®</sup>）
- 新規作用機序（E7070、E7107）
- がん増殖シグナル阻害（E6201）
- 血管新生阻害（E7820、E7080）

- 免疫療法

- DNAワクチン（Amolimogene、ZYC300）
- モノクローナル抗体（MORAb-003、MORAb-009）
- ワクチンアジュバント（E6020）

- 支持療法

- 血小板減少症治療（AKR-501）
- 末梢神経障害治療（GCP II阻害剤）

赤字:MGI PHARMA製品

# あらゆる研究アプローチからの豊富ながん領域パイプライン

臨床段階

フェーズ I

フェーズ II

フェーズ III

申請中

がん領域

支持療法

MGI PHARMA

エーザイ

MGI PHARMA

**Amolimogene**  
子宮頸部異形成治療用 DNAワクチン

**ZYC300**  
CYP1B1を標的とするがん治療用DNAワクチン

**Dacogen®**  
MDS延命効果

**Irofulven**  
Illudin S毒素半合成誘導体

**Dacogen®**  
急性骨髄性白血病

**E7389** 微小管伸長阻害剤  
非小細胞肺癌（併用）

**E7389** 微小管伸長阻害剤  
乳がん（サードライン、サブパートH）  
前立腺がん、肉腫

**E7389** 微小管伸長阻害剤  
乳がん（セカンド&サードライン）

**E7080**  
VEGFRチロシンキナーゼ阻害剤

**E7820**  
アルファ2インテグリン発現阻害

**E7070**  
細胞周期G1期標的剤

**MORAb-003**  
葉酸受容体アルファ抗体

**E7974**  
ヘミアステリンタイプチューブリン阻害剤

**MORAb-009** メソセリン抗体

**E7107**  
RNAスプライシング制御

**E6201\***  
がん増殖シグナル阻害剤

**AKR-501**  
特発性血小板減少性紫斑病(ITP)

**Saforis™**  
口腔粘膜炎

**Aloxi®** 経口剤  
がん化学療法による悪心、嘔吐

**Aquavan®**  
簡便な診断・治療の際の鎮静

\*:フェーズ I 準備中

# がん治療とその支持療法の豊富な現製品

## 上市品

がん領域	MGI PHARMA	Dacogen® DNA メチルトランスフェラーゼ 阻害剤	Gliadel® Wafer カルムスチン脳内 インプラント徐放製剤	Aloxi®注射剤 がん化学療法による 悪心、嘔吐	MGI PHARMA	支持療法
		Hexalen® 合成細胞毒抗腫瘍 S-トリアジン誘導体		Salagen® 放射線療法による ドライマウス		
		オンタック CD25陽性皮膚浸潤性 T細胞リンパ腫治療剤	タルグレチン (カプセル&ゲル) 再発性皮膚浸潤性 T細胞リンパ腫治療剤	ブリアルト 重度慢性疼痛治療剤		
		パンレチン(ゲル) AIDSに伴う表在性 カポジ肉腫治療剤		フラグミン 血液凝固阻止剤		
	エーザイ		エーザイ			

# MGI PHARMA買収で目指すもの

## 2. DLPの目標達成の確度を向上させる

- 米国事業のさらなる強化
- ビジネス・シナジーの実現

# 米国での二桁成長を確たるものとする

米国における2011年度、DLP売上高4,400億円の達成確度向上

## ● 本買収により期待される成果

### － 高成長中のカテゴリー・リーダー製品の獲得

- Aloxi<sup>®</sup>、Dacogen<sup>®</sup> は、発売以来、順調に売上を拡大
- 売上高は、今後5年間平均35%以上の成長を見込む<sup>\*3</sup>

製品名	米国販売開始	2006年売上高	ピーク売上高(予想) <sup>*3</sup>
<b>Aloxi<sup>®</sup></b> (がん化学療法による悪心・嘔吐) (術後の悪心・嘔吐 <sup>*1</sup> )	2003年	\$ 251MM <sup>*2</sup>	\$ 750MM
<b>Dacogen<sup>®</sup></b> (骨髄異形成症候群)	2006年	\$ 36MM (2006年5月承認)	\$ 500MM
Gliadel <sup>®</sup> Wafer (インプラント型 脳腫瘍治療剤)	1996年	\$ 36MM	\$ 75MM
<b>Aquavan<sup>®</sup></b> (簡便な診断・治療の際の鎮静)	2008年	—	\$ 400MM

<sup>\*1</sup>: 新適応症申請中    <sup>\*2</sup>: がん化学療法による悪心・嘔吐の売上実績    <sup>\*3</sup>: 2007年11月MGI PHARMA公表値

# コマーシャル・ストラクチャーの強化

## ビジネス・シナジーを実現

オンコロジー・スペシャリスト・グループ

保険償還、ガバメント・リレーションズ、メディカル・アフェアーズ

エーザイ

ホスピタル・チーム  
オンコロジー・チーム

強力なオンコロジー &  
インスティテューショナル  
コマーシャルストラクチャー

MGI PHARMA

アキュート・ケア・チーム  
オンコロジー・チーム

統合された販売体制による売り上げ成長の加速

- Aloxi<sup>®</sup> (がん化学療法および術後の悪心・嘔吐)
- Dacogen<sup>®</sup> (MDS、急性骨髄性白血病)
- ONTAK<sup>®</sup>, Targretin<sup>®</sup> (皮膚浸潤性T細胞リンパ腫)
- Gliadel<sup>®</sup> Wafer (インプラント型脳腫瘍治療)
- E7389 (乳がん、非小細胞肺癌)
- Aquavan<sup>®</sup> (簡便な診断・治療の際の鎮静)
- E7820 (がん)
- MORAb-003 (卵巣がん)

⋮

# コストシナジー

## (費用削減、将来的費用の回避)

- 人員と機能の整備、最適化と追加人員雇用の回避
- 米国オンコロジー基盤強化投資の軽減
- 上場維持関連コストの削減
- 組織再編による重複コストの回避
- シナジー見込み
  - 2008年度 > \$ 50MM
  - 2009年度 > \$ 70MM
  - 2010年度 > \$ 100MM

# MGI PHARMA買収で目指すもの

3. 2012年度以降の持続的成長を視野に入れる



# 2012年度以降の持続的成長を視野に入れる

- DLP目標1兆円の達成確度を高める
- アリセプトの米国物質特許満了を克服する
- オンコロジー領域を充実させる製品群の獲得

- グローバル・リーディング・オンコロジー・カンパニーをめざす
- 豊富かつ革新的な医薬品の継続的上市
- ニューロサイエンス、オンコロジーエリア製品取り揃え充実
- 売上、利益の持続的成長

E7389 乳がん  
 E2007 パーキンソン病  
 E5564 重症敗血症  
 D2E7 関節リウマチ  
 クレブジン 慢性B型肝炎

Aloxi® がん化学療法による悪心・嘔吐  
 Dacogen® 骨髄異形成症候群  
 Gliadel® Wafer DNA・RNAアルキル化  
 Salagen® ドライマウス  
 Hexalen® 卵巣がん  
 Aquavan® 簡便な診断・治療の際の鎮静  
 Saforis 口腔粘膜炎

E2012 アルツハイマー型認知症  
 AS-3201 糖尿病合併症  
 E7820 アルファ2インテグリン発現抑制  
 E7080 VEGF受容体チロシンキナーゼ阻害  
 E7974 チューブリン重合阻害  
 E7107 RNAスプライシング制御  
 MORAb-003 抗体医薬、卵巣がん  
 MORAb-009 抗体医薬、脾臓がん  
 E5555 急性冠症候群  
 E3710 酸関連疾患／新PPI  
 E3210 過敏性腸症候群

Amolimogene DNAワクチン  
 AKR-501 血小板減少症  
 Irofulven 前立腺がん  
 ZYC300 DNAワクチン

FY2007 FY2008 FY2009 FY2010 FY2011 FY2012 FY2013 FY2014 FY2015 FY2016

**Dramatic Leap Plan (2006-2011)**

**更なる飛躍 (FY2012 - )**

# MGI PHARMA主要製品

ならびにパイプライン

# Aloxi®

## 5-HT<sub>3</sub>受容体拮抗 制吐剤(注射)

- **作用機序と特徴**

- セロトニン サブタイプ3(5-HT<sub>3</sub>)受容体拮抗
- 遅発性の悪心・嘔吐にも適応を保有する唯一の5-HT<sub>3</sub>受容体拮抗 制吐剤

- **適応**

- がん化学療法に伴う悪心・嘔吐

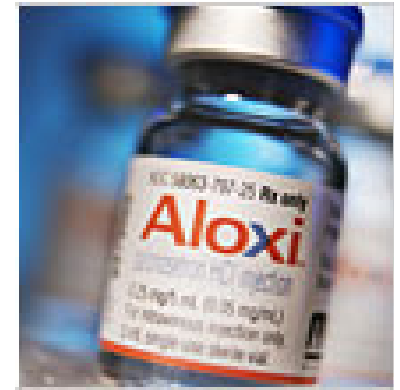
- **米国特許期間： 2015年4月**

小児適応の申請で独占期間6カ月延長を予定

- **米国5-HT<sub>3</sub>の市場シェア35%は上昇中**

- **新適応、新製剤**

- 新適応： 術後の悪心・嘔吐、米国申請中
- 新製剤： 経口剤(治療の薬剤選択肢を拡大)、米国申請中



# Dacogen®

## 骨髄異形成症候群(MDS)治療剤

- **作用機序と特徴**
  - DNAメチル化阻害による細胞分化誘導作用
  - 広い適応範囲：前治療の有無にかかわらず、初発および二次性MDSの全サブタイプ
- **適応**
  - 骨髄異形成症候群(Myelodysplastic syndromes:MDS)
- **米国でオーファンドラッグとして独占期間は2013年5月まで小児適応の申請で独占期間6カ月延長を計画**
- **大きな成長機会**
  - 2006年5月に発売；  
DNAメチル化阻害剤クラスで最大シェア
  - MDS延命効果：フェーズIIIで準備中
- **新適応**
  - 急性骨髄性白血病(AML):フェーズIII



# Gliadel® Wafer

## インプラント型 脳腫瘍治療剤

- **作用機序と特徴**
  - DNA・RNAアルキル化剤(抗がん剤)carmustineの脳内インプラント徐放製剤
  - FDAにより承認された唯一のインプラント型脳腫瘍治療剤
- **適応**
  - 初発の悪性神経膠腫における手術および放射線療法との併用
  - 再発型の多形性神経膠芽腫における手術との併用
- **米国独占期間は2010年2月**



# Aquavan®

## 注射用鎮静剤

- **作用機序と特徴**
  - Propofol(注射用麻酔・鎮静剤)のプロドラッグ、物性と体内動態を改善
  - 効果発現が早くタイトレーションが容易、鎮静からの早い回復
- **適応**
  - 簡便な診断・治療の際の鎮静
- **開発ステージ**
  - 米国申請中(2007年9月)
- **サポーターティブ・ケア領域の充実**
  - 大腸、気管支内視鏡などの検査・診断・治療で安全に使用できる鎮静剤
  - Aloxi®の術後の悪心・嘔吐適応と組み合わせたプロモーション

# Amolimogene

## DNAワクチン、子宮頸部異形成治療剤

- **作用機序と特徴**
  - 子宮頸部異形成と子宮頸部がんの主な原因となるヒトパピローマウイルス(HPV)の抗原タンパクをコードするDNAを製剤化
- **適応**
  - 子宮頸部異形成
- **開発ステージ**
  - フェーズII/III

# MGI PHARMA買収のファイナンス



# 買収資金調達方法 (予定)

- 手元資金と借入金(ブリッジローン)により充当
  - 現金: \$ 300MM
  - ブリッジローン: \$ 3,623MM
- パーマネントローン  
長期借入金、普通社債など幅広い選択肢で検討

# 損益への影響

- キャッシュ EPS(のれん償却前)は、2008年度より増大
- GAAP EPS(のれん償却後)は、2009年度以降増大
- インプロセス R&Dは2007年度に一括費用計上
- 2007年度の業績への影響は確定後速やかに公表

# バリュエーション

- ディスカウント・キャッシュフロー(DCF)法、類似取引比較法／類似企業比較法などの、いわゆるマルチプル分析等の複数の手法を用い、詳細なバリュエーションを実施
- DCF法においては、MGI PHARMAが既に権利を有している製品、パイプライン、買収シナジーがバリュエーションの大きな部分を構成している
- マルチプル分析では、米国における類似企業や類似取引との比較を行った

# 配当政策について

## 買収に伴う業績の一時的変動に関して

- 継続的、安定的な株主還元策に変更なし
- 中期目標としてDOE8%の達成に向かう
- 増配基調を堅持する（今期見通し130円）